

平成26年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年6月6日  
上場取引所 東

上場会社名 ベルグアース株式会社  
 コード番号 1383 URL <http://www.bergearth.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 一彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 越智 正勝 (TEL) 0895-20-8231  
 四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第2四半期の業績(平成25年11月1日～平成26年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第2四半期	1,762	3.7	△13	—	128	100.3	79	106.0
25年10月期第2四半期	1,700	8.2	48	805.2	64	434.0	38	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第2四半期	62.56	—
25年10月期第2四半期	30.36	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第2四半期	3,500	1,105	31.6
25年10月期	2,643	1,035	39.2

(参考) 自己資本 26年10月期第2四半期 1,105百万円 25年10月期 1,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年10月期	—	0.00	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,080	7.1	160	△19.7	300	34.7	183	30.4	144.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年10月期 2 Q	1,269,900株	25年10月期	1,269,900株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

26年10月期 2 Q	64株	25年10月期	41株
-------------	-----	---------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年10月期 2 Q	1,269,855株	25年10月期 2 Q	1,269,900株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待感から円安・株高が進み、景気は緩やかに回復してきたものの、平成26年4月1日からの消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社の属する農業分野におきましても、農家の高齢化及び後継者不足に加え、TPP交渉参加や人口減少に伴う国内市場の縮小など、依然として厳しい状況が続いております。また、平成26年2月に関東甲信越を襲った記録的な大雪により、ビニールハウス等の農業施設が倒壊するなど甚大な雪害が発生いたしました。この大雪による当社の設備に対する被害は無かったものの、売上面では2月中旬～3月末に定植を予定していた農家からの受注が一時的に減少いたしました。

このような状況のもと、当社は4月以降の家庭園芸向け野菜苗の供給能力拡大を図るための茨城農場の増設、及び品質と生産性向上のための本社農場の改築を平成26年3月に実施いたしました。

上記の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,762,724千円と前年同四半期と比べ62,542千円(3.7%)の増収となったものの、人材及び研究開発部門への投資を積極的に実施した結果、13,006千円の営業損失(前年同四半期は営業利益48,624千円)となりました。一方、経常利益は補助金収入等の営業外収益の増加等により128,723千円と前年同四半期と比べ64,464千円(100.3%)の増益、四半期純利益は79,437千円と前年同四半期と比べ40,877千円(106.0%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (野菜苗生産販売事業)

当第2四半期累計期間の売上高は、大雪等の影響により2月中旬～3月末の営利農家向けの需要が一時的に減少したものの、茨城農場の増設等により家庭園芸向けの供給能力が拡大した結果、1,591,281千円と前年同四半期と比べ59,208千円(3.9%)の増収となりました。

損益面につきましては、農場の拡大に加え、人材及び研究開発部門への投資を積極的に実施した結果、セグメント利益(営業利益)は141,390千円と前年同四半期と比べ57,174千円(28.8%)の減益となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
トマト苗	549,270	109.5
キュウリ苗	444,776	100.2
ナス苗	220,600	102.7
スイカ苗	151,662	94.9
メロン苗	116,378	103.6
ピーマン類苗(注)	34,337	99.8
その他	74,255	113.3
合計	1,591,281	103.9

(注) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シシトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
ポット苗(7.5cm~15cm)	812,473	101.8
当社オリジナル(アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ等)	481,794	107.8
セル苗(288穴~72穴)	289,042	102.2
その他	7,971	180.2
合計	1,591,281	103.9

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット(ポリ鉢)で育苗した一般的な苗であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器(セルトレー)で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
北海道・東北	214,388	111.3
関東	614,643	101.2
中部・甲信越・北陸	276,285	101.0
近畿・中国・山陰	310,246	101.5
四国	93,699	114.1
九州・沖縄	82,017	115.3
合計	1,591,281	103.9

#### (流通事業)

当第2四半期累計期間の売上高は、培養土等の農業資材販売が増加した結果、173,598千円と前年同四半期と比べ5,488千円(3.3%)の増収となりました。

損益面につきましては、原価率の改善及びコスト削減の効果があったものの、8,398千円のセグメント損失(営業損失)(前年同四半期はセグメント損失17,712千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ857,222千円(32.4%)増加の3,500,277千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が333,635千円、たな卸資産が178,851千円、有形固定資産が303,010千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末と比べ787,373千円(49.0%)増加の2,395,040千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が260,226千円、短期借入金が300,000千円、未払金が102,429千円、長期借入金151,027千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末と比べ69,848千円(6.7%)増加の1,105,236千円となりました。これは、四半期純利益の計上等により利益剰余金が70,548千円増加したこと等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は332,845千円と前事業年度末と比べ58,494千円(21.3%)の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△50,774千円と前年同四半期と比べ支出が29,463千円減少しました。支出が減少した主な要因は、税引前四半期純利益の増益、仕入債務の増加等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△339,782千円と前年同四半期と比べ支出が275,865千円増加しました。支出が増加した主な要因は、茨城農場の増設及び本社農場の改築等に伴い、有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、449,051千円と前年同四半期と比べ収入が241,322千円増加しました。収入が増加した主な要因は、短期借入金及び長期借入金の増加等によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間において概ね計画通り推移していることから、平成25年12月13日に公表した業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	307,351	339,245
受取手形及び売掛金	811,028	1,144,663
商品及び製品	7,387	9,018
仕掛品	44,986	158,889
原材料及び貯蔵品	70,769	134,087
その他	43,133	58,982
貸倒引当金	△1,067	△1,116
流動資産合計	1,283,590	1,843,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	605,598	938,173
機械及び装置(純額)	107,439	115,300
土地	452,854	466,563
その他(純額)	64,729	13,595
有形固定資産合計	1,230,622	1,533,633
無形固定資産	36,664	36,109
投資その他の資産	92,177	86,763
固定資産合計	1,359,464	1,656,506
資産合計	2,643,054	3,500,277
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	375,822	636,049
短期借入金	250,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	170,534	177,540
未払金	98,292	200,722
未払法人税等	52,308	18,398
賞与引当金	44,000	42,000
その他	58,874	37,064
流動負債合計	1,049,832	1,661,774
固定負債		
長期借入金	531,322	682,349
資産除去債務	25,843	26,094
その他	668	24,821
固定負債合計	557,834	733,266
負債合計	1,607,666	2,395,040
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	331,494	331,494
資本剰余金	241,494	241,494
利益剰余金	459,867	530,416
自己株式	△66	△100
株主資本合計	1,032,789	1,103,304
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,597	1,932
評価・換算差額等合計	2,597	1,932
純資産合計	1,035,387	1,105,236
負債純資産合計	2,643,054	3,500,277

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
売上高	1,700,182	1,762,724
売上原価	1,295,677	1,370,527
売上総利益	404,504	392,197
販売費及び一般管理費	355,880	405,204
営業利益又は営業損失(△)	48,624	△13,006
営業外収益		
受取利息	22	65
受取配当金	319	450
受取手数料	6,693	4,276
補助金収入	6,860	138,744
貸倒引当金戻入額	1,734	—
その他	2,968	2,082
営業外収益合計	18,598	145,618
営業外費用		
支払利息	2,947	3,354
その他	14	533
営業外費用合計	2,962	3,888
経常利益	64,259	128,723
特別利益		
有形固定資産売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
有形固定資産除却損	—	20
リース解約損	—	274
特別損失合計	—	294
税引前四半期純利益	64,269	128,428
法人税、住民税及び事業税	24,943	15,698
法人税等調整額	766	33,293
法人税等合計	25,709	48,991
四半期純利益	38,559	79,437



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	64,269	128,428
減価償却費	57,513	63,386
有形固定資産売却損益 (△は益)	△9	—
有形固定資産除却損	—	20
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,734	49
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,212	△2,000
受取利息及び受取配当金	△342	△515
支払利息	2,947	3,354
補助金収入	△6,860	△138,744
売上債権の増減額 (△は増加)	△337,666	△333,635
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△117,339	△178,851
仕入債務の増減額 (△は減少)	204,542	260,226
未払金の増減額 (△は減少)	73,173	97,968
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,897	△28,769
その他	4,836	△6,702
小計	△51,982	△135,783
利息及び配当金の受取額	342	515
利息の支払額	△3,198	△3,329
補助金の受取額	7,760	137,344
法人税等の支払額	△33,159	△49,522
営業活動によるキャッシュ・フロー	△80,237	△50,774
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,600	△3,000
定期預金の払戻による収入	—	28,800
有形固定資産の取得による支出	△54,363	△357,454
有形固定資産の除却による支出	—	△556
有形固定資産の売却による収入	9	—
無形固定資産の取得による支出	—	△3,428
関係会社株式の取得による支出	△1,000	△1,000
保険積立金の積立による支出	△1,878	△1,878
その他	△83	△1,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,916	△339,782
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	350,000
短期借入金の返済による支出	—	△50,000
長期借入れによる収入	100,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△85,731	△91,967
自己株式の取得による支出	—	△34
配当金の支払額	△6,349	△8,756
その他	△190	△190
財務活動によるキャッシュ・フロー	207,728	449,051
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	63,574	58,494
現金及び現金同等物の期首残高	167,045	274,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	230,619	332,845

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	野菜苗生産販売 事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,532,072	168,109	1,700,182	—	1,700,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,532,072	168,109	1,700,182	—	1,700,182
セグメント利益又は損失(△)	198,564	△17,712	180,852	△132,228	48,624

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△132,228千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期累計期間(自平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	野菜苗生産販売 事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,589,126	173,598	1,762,724	—	1,762,724
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,154	—	2,154	△2,154	—
計	1,591,281	173,598	1,764,879	△2,154	1,762,724
セグメント利益又は損失(△)	141,390	△8,398	132,992	△145,999	△13,006

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△145,999千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。